

## 1. 確認

目的: 何のための、イノベーションによる国際競争力強化か？

手段: 国の役割は制度的隘路の解消。生産創造の担い手は民。

## 2. 政策の重点項目

国民の不安・不信・閉塞感

・・・ 医療・介護・年金・福祉・機会格差の改善

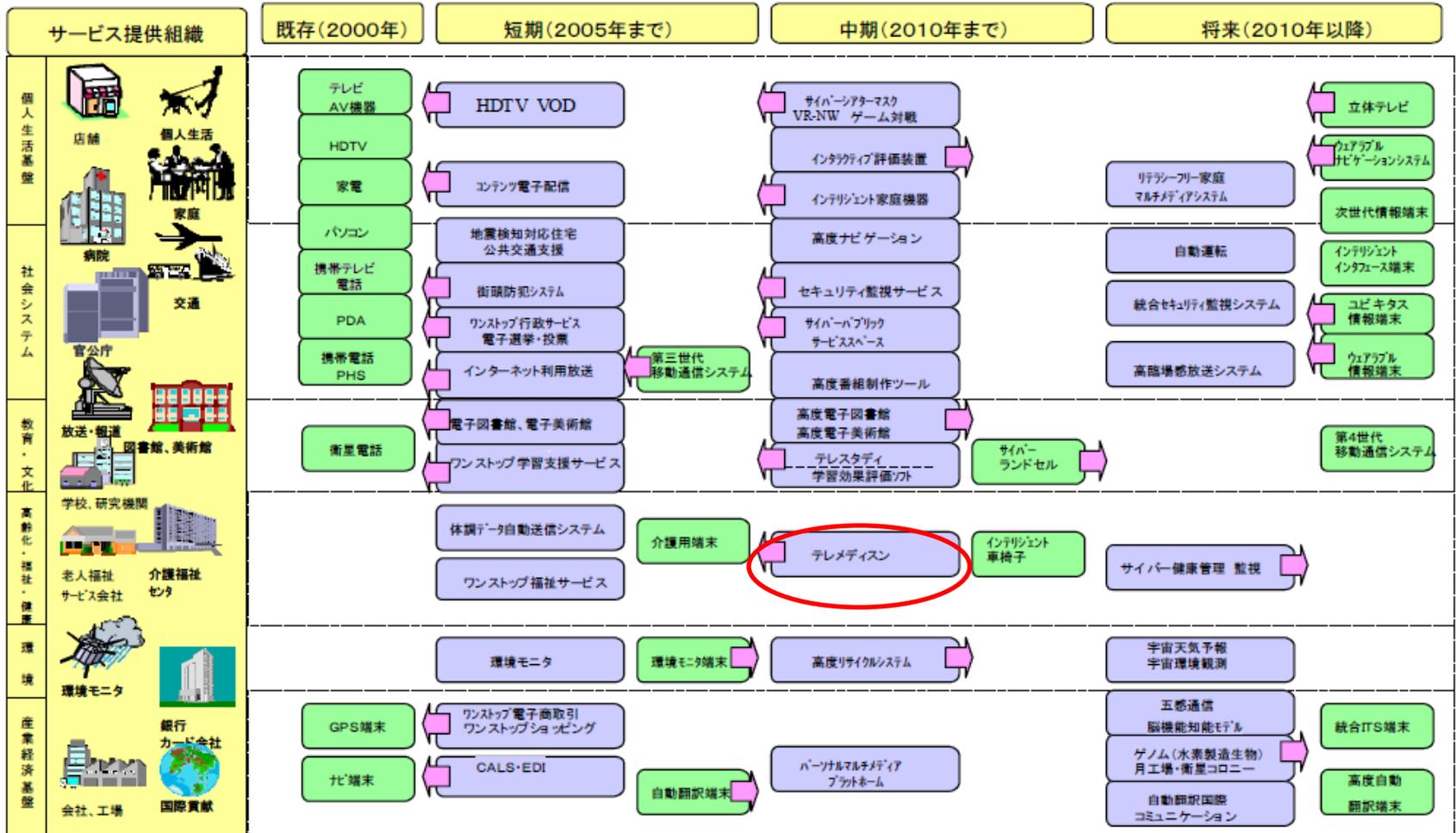
- ・ICT・標準化による新しいサービスは、医療・雇用・福祉分野に重点をおくべきではないか。
- ・誰もが、居ながらに享受できるインフラ整備が必須。  
(設置援助と操作簡単デバイスの開発)

## 3. 具体的項目

- ・**通信等インフラ**: 大容量・超高速通信網整備、放送と通信の融合、ホワイトスペース開放、デバイス開発(マイクロ・テストデバイス等)
- ・**医療**: 双方向性の電信遠隔医療(テレメディスン)、病理診断、レセプト・カルテの送受信、在宅介護
- ・**雇用**: 在宅勤務(テレワーク)、ワークシェア
- ・**福祉**: 年金等公共手続、子育て支援、教育支援

# 情報通信の展望(第3版)における製品・サービスの進展状況

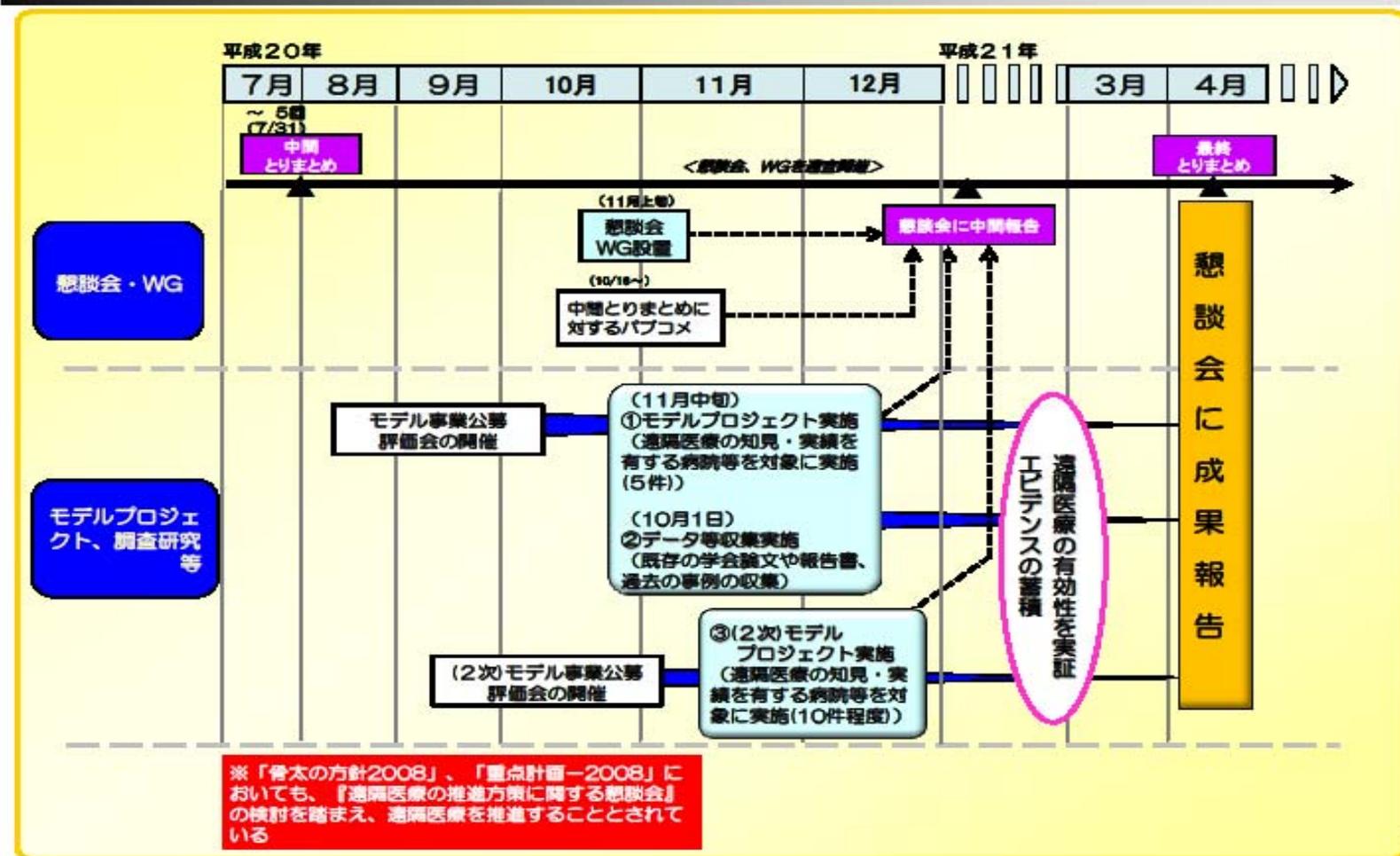
□ その時期までに実現される新規サービス・端末



凡例：  
 早まっている  
 遅れ気味である  
 どちらともいえない

注) 矢印は第3版での実現予測に対し、現時点(2002年)時点で実現化状況を判断し模式的に示したもの(基準は各時期ごとに下記の基準を使用) 第3版第2節の本文中に記載の無いサービス・端末については、実現化状況が判断できないため、上記マップからは削除している。

# 遠隔医療の推進に係る当面のスケジュール



平成20年11月14日総務省・厚生労働省/第4回医療評価委員会・資料2「医療再生に向けたITの活用・遠隔医療の推進方策に関する懇談会中間とりまとめ及び今後の活動について

参考: 2008年8月20日IT戦略本部「重点計画2008」